



【立岩小学校】

＜第1・2学年（生活）第3～6学年（総合的な学習の時間）：自然の恵みに感謝＞



立岩小学校では、地元農家さんのご指導の下、毎年田植えと稲刈りの体験を行っています。今では機械で作業することが多い稲作ですが、教えていただくのは、伝統的な手作業での稲作です。昔の人の知恵と技術の詰まった作業工程は一筋縄ではいきませんが、子どもたちは教わったことを身に付け、学年が上がるごとに手慣れていきます。「子どもたちに伝統を伝えていきたい」「先祖から受け継いだ土地を守っていきたい」という地域住民の方々の思いを感じとる学びの多い時間となりました。子どもたちは、農業に従事する方々への感謝と尊敬の意を示すとともに、「自分たちは、地域のために何ができるだろう」という視点を持ち、日々の学習に取り組んでいます。こうした経験を積み重ね、地域貢献できる人材に成長することを願っています。

田んぼで上学年が作業をしている間、1・2年生は棚田で虫捕りに夢中です。里山の豊かな生態系を学ぶとともに、美しい棚田の景色に思いを馳せています。自然の恵みに感謝し、ふるさとを愛する立岩っ子の育成につながる活動となりました。

また稲作の他に、本校では地域の方からお借りしている学校前の畑で、じゃがいもやサツマイモ等の野菜を栽培しています。植え付けや収穫にあたっては、地元農家さんからご指導と畑整備等で支援をいただいています。本年度は収穫したさつまいもを活用して、PTAと協力して、公民館祭りで地域の方々にスイートポテトを振る舞い、好評をいただきました。子どもたちの取り組みが、地域の活気や笑顔につながる経験を通し、地元愛や自己有用感を育てる活動につながりました。

